

西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
 (2011) http://nshp.jp/



▼看護局から

いつも地域の皆さんから、温かいご支援をいただきありがとうございます。
 私たちは、その思いをしっかりと受け止めて、日々の看護に心を込めて、病と闘っておられる方の健康の回復に向けて精一杯に療養のお手伝いをしています。



▲研修の様子

この4月に、同じ志を持つ、18名の仲間（看護師）が西脇病院に就職してくれました。この新しい仲間の育成は、厚生労働省が提示した「新人看護師研修ガイドライン」を基に、新人看護師教育体制を充実させて行っています。
 学生から、社会人、組織人へと変容して行く重要な時期です。その1年間の育成に関わるのは、本当に力が要ります。しかし、採用者の育成は、「基本的に全職員で行う」という考え方で、入職時の集合研修には、看護局・事務局・医療技術局・西脇市教育委員会・広報研修委員会など大勢の職員が関わっています。そして、医師・看護師・医療技術職員が和やかな雰囲気です。このように全職員が、「患者さまが元気になる」

と」「笑顔を見ること」そして「ありがとう」の一言を力の源として、大切にしながら「相手を思いやる心で、支え合い認め合って」成長できるように取り組んでいます。
 これからも職員一人ひとりが「地域の医療・看護を支える」という気持ちを持って、地域の健康と命を守ることに貢献できるように努力を続けていきたいと思います。

▼西脇病院「健康セミナー」

毎月1回、西脇病院医師による「健康セミナー」を開催しています（参加費は無料）。
 ▼とき 7月28日（月）午後3時～1時間程度
 ▼ところ 病院講堂（2階）
 ▼講師 眼科医 板谷 浩志
 ▼演題 糖尿病網膜症
 ▼問合せ 病院総務課（病院内線366）

▼薬剤部から

最新の糖尿病治療薬について

2型糖尿病にこれまでなかった新しい治療薬が開発されました。
 腎臓は血液をろ過し、血液中の老廃物や異物、不要な水分を尿として排せつします。糖やアミノ酸といった栄養物はろ過されやすいため、いったんはろ過されますが、ほとんどが体内へ再吸収されます。この時、糖の再吸収を助ける役割するのがSGLT2というタンパク質です。このSGLT2の働きを阻害する働きを持つのが新しい治療薬で

糖の再吸収を抑えることで体内へ戻る糖の量を少なくし、過剰な糖を尿中に排せつします。
 糖尿病の患者さんは血中の糖が高い状態にあります。血液中の過剰な糖を体外に排出することで血糖降下作用が期待できます。

しかし、糖尿病の治療の基本は食事療法、運動療法です。今の生活習慣を見直して薬剤だけに頼らず健康的な生活を送るようになりましょう。

▼糖尿病教室のお知らせ

【知って得する し・め・じ】合併症についてわかりやすく

▼はなみずきの会

乳がんについて話し、ともに歩んでいきませんか。
 ▼とき 7月26日（土）午後2時～4時
 ▼ところ 病院講堂（2階）
 ▼対象 乳がん経験者およびその家族
 ▼内容 交流会、および理学療法士による「リハビリ体操」

西脇小児医療を守る会コラム 71

ママにだってできるんだよ!!



ボランティアの輪

5月13日に子育て学習センターで「H26年度子育てボランティア交流会」が行われました。

毎月親子で交流されている市内各地区のグループや、健康劇や読み聞かせなどを行う子育ての先輩ママさんグループなど、たくさんのボランティアサークルが集まりました。



▲子育てボランティア交流会

の「キャサリン」と一緒に今までの活動や、病院にかかる時の参考冊子などを紹介しました。「明るく子育てしやすいまち西脇市にしよう」と動き出した輪がどんどん広がり大きな輪になってきていると感じました。これまでのつながりを大切に、これからもこの輪を守り続けていきたいです。

【お知らせ】7月19日（土）に西脇病院フェスタが開催されます。皆さん一緒に楽しみましょう!

◆問合せ 西脇小児医療を守る会 ☎090-8538-1337 石井 http://www.kodomonomirai.com info@kodomonomirai.com

健康バンザイ

103

西脇病院の医師が健康や病気を提供します。



放射線治療について
 放射線科部長 坂口 俊也

西脇病院では2007年の11月から放射線治療を開始、今年4月までの間に約700人の方の治療をしてきました。放射線治療は怖いものと思われがちですが、医学や技術の進歩と共に放射線治療の分野も非常に進歩をしています。放射線治療のメリットとデメリットについて話をします。
 放射線治療のメリットは、①コンピュータなどの技術革新の結果、非常に小さな範囲で厳密な照射が可能になってきた。②がんの周りの正常な組織は大きく傷つけることなく治療ができ副作用が最小限に押さえられるようになった。③臓器等を切除することからくるダメージや後遺症がない。④治療そのものに痛みや苦しみに伴わない。⑤1回の治療が5分程度と通院で治療が行えるので日常生活を維持しながら治療できる場合が多い。⑥手術や化学療法と組み合わせることで大きな効果が期待できることがある。⑦体にダメージを与えずに疼痛などの症状を和らげることができる。
 一方、放射線治療のデメリットは、正常な組織にも多少は放射線が当たりますので当然それに伴う副作用は起こります。副作用には治療中に起こる急性の放射線障害と治療後に起こる晩発性障害があります。しかし、放射線治療の障害は基本的に放射線の当たった場所にしか起こりません。「胸に放射線を当てたから」といって髪の毛が抜けた」ということはありません。また、急性の放射線障害は一種の炎症ですので時間がたつと症状がきれいに消えていくのも特徴の一つです。晩発性障害は治療後数カ月からでてくる症状です。研究により組織の放射線に耐えられる線量が詳しく分かってきましたので晩期の副作用は大変少なくなっています。

▼費用

会員は無料、非会員は500円
 ▼問合せ 地域医療連携室 (228270)

▼エントランスホールギャラリー

富永信義さんの色紙画と写真を展示します。
 ▼とき 7月1日（火）～31日（木）

▼ところ

西脇病院エントランスホール
 ▼問合せ 経営管理課 (病院内線363)

▼地域で研修医を応援

西脇市商業連合会では、西脇病院が北播磨北部地域の中核病院として、活気をもって



▲贈呈式の様子 (5月23日)

発展するようにと、毎年西脇病院に着任する臨床研修医の活動を支援されています。5回目となる今回は、藤本幸生会長から新たに着任した研修医3人に対し「へその街にいわき共通商品券」が贈呈されました。

西脇多可休日急患センター

◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
 ◆診察日 日曜日（年末年始を除く）午前9時～午後5時
 ◆問合せ ☎23-5380
 ○病状やけがの様子など電話であらかじめご連絡ください。電話が混みあいご迷惑をおかけすることがありますが、しばらくしてからおかけ直してください。
 ○必ず健康保険証を持参ください。

7月の出務予定医師	
7月 6日(日)	富原 均 先生
7月13日(日)	上田 久美 先生
7月20日(日)	天野 昌彦 先生
7月27日(日)	富田 誠人 先生

※西脇市多可郡医師会の医師が交代で、入院を必要としない内科系の軽症患者の診察を行います。